

令和2年度 事業報告

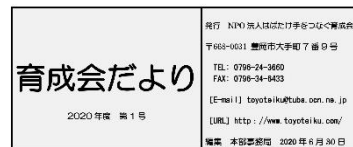
I. 本部事業

1. 障害児教育の強化増進事業

- ・教育支援委員会に参画 8回
- ・出石特別支援学校、豊岡聴覚特別支援学校、見学・体験・実習等 7回

2. 障害児者とその家族への理解促進・人権擁護推進事業

- ・豊岡市自立支援協議会 6回
豊岡市障害者福祉計画策定委員会 5回



- ・育成会だよりの発行 700部 年4回発行

第1号 6月30日発行

第2号 9月30日発行

第3号 1月30日発行

第4号 3月31日発行

- ・他団体主催の研修活動への派遣

第 64 回兵庫県障害者福祉大会

11月21日 尼崎市 中止

但馬ブロック研修会

10月12日 WEB研修「知的障害者相談員研修」 12名参加

障害児職業訓練事業（県育成会事業） 中止

- ・地域生活支援事業研修会

ビジョントレーニング

講師 JoyVison 南但 武田貴行氏

～学習、運動、作業が楽しくなる視覚機能を育てよう～

3月11日 豊岡市民プラザ活動室 16名参加

- ・つくし保護者会研修会

7月16日 6名参加

11月19日 4名参加

3. 障害児者とその家族に係る相談事業

- ・知的障害者相談員1名（豊岡市より受託）による相談業務

4. 障害児者とその家族と市民の交流活動

- ・フェスタはばたけ 11th (新型コロナウイルス感染防止のため規模縮小して開催)

12月19日 豊岡市民プラザ

ほっとステージ 利用者・職員による演目

「踊り」「合奏」「ファッションショー」「大喜利」「合唱」など

はばたけ縁日、アート展、カフェ



5. 障害児者の文化・スポーツ推進事業

・本人部会活動

実施日	活動内容	参加人数
4月11日	城崎温泉街散策・花見	コロナの為中止
4月29日	ボウリング	コロナの為中止
5月9日	スポーツ&カフェ	コロナの為中止
5月25日	カラオケ	コロナの為中止
6月27日	グラウンドゴルフ大会	33名
7月23日	すごろく遊び	30名
8月1日	映画鑑賞	29名
8月22日	ボウリング	32名
9月5日	モビール作り	27名
9月19日	スポーツ&カフェ	26名
10月24日	はばたけ縁日	22名
11月7日	映画鑑賞	25名
11月21日	レクリエーション	29名
12月5日	カラオケ	22名
1月23日	すごろく遊び	29名
2月20日	映画鑑賞	21名
3月13日	キャンドル作り	30名
3月27日	カラオケ	20名
年間総参加人数		375名

6. 障害児者福祉サービス事業

多機能施設はばたけ（すいーつ 就労継続支援B型・じゃんぷ 生活介護）

ほっと 生活介護

ヘルパーステーションはあと 居宅介護、行動援護、移動支援、重度訪問介護

OHANA「あお-1」 共同生活援助・サテライト「あおぞら」

OHANA「あお-2」「にじ-1」 共同生活援助・短期入所

OHANA「はるぞら」 共同生活援助

つくし 障害児通所支援

7. 福祉有償運送事業「くれよん」

登録利用者数 23名

年間総走行距離数 5,157 km

年間総運行回数 756回



Ⅱ. 障害福祉サービス事業（日中活動）

基本方針

利用者一人ひとりのニーズを的確に把握し、日中活動を通じて、達成感・充足感を持ち、健康で自立した日常生活又は社会生活を送ることを目指す

事業報告

1. 多機能施設 はばたけ

〈1〉すいーつ 就労継続B型

- ・就労・生産活動に必要な知識・能力向上のための訓練を実施した
- ・作業を通して、集中力・責任感・主体性や社会性を高め、働くことへの自信・意欲の向上に努めた
- ・利用者の能力・意欲を引き出すよう指導、配慮及び環境整備を行い、生産力・売上・工賃の向上を図った
- ・作業意欲の維持・向上のため、作業以外の活動を再検討し、実施した

（1）製菓部

- ・焼菓子等の製造・販売を行った
- ・新商品の開発のため、企画・検討を行った
- ・定期的な販売先の確保のため、積極的にイベントに参加した



＜焼き菓子販売実績＞

- ・委託販売先：11 店舗

新たな委託販売先の開拓のため、通常・イベントチラシの配布に注力した

令和2年	9月 4日	日高高校学校 学校祭
------	-------	------------

※新型コロナウイルスの影響のため、各種イベント等中止

（2）配食サービスもみじ家

- ・法人内部への食事の製造・提供を行った
- ・法人外部への販路拡大を視野に入れ、カフェ店舗での販売を行った
- ・調理作業に携わる利用者・職員の増員・育成を行った

（3）カフェ業務

- ・集客力増加のため、情報誌への掲載等の広報活動強化を行い、新商品・新メニューの開発に力を入れた
- ・定期的な移動販売出店先の確保のため、積極的にイベントへの参加を行った

＜店舗販売実績＞

営業日数： 219 日

＜移動販売車販売実績＞

令和2年	9月 4日 12月 19日	豊岡総合高校 学校祭 フェスタはばたけ 11th
------	------------------	-----------------------------

※新型コロナウイルスの影響のため、各種イベント等の中止

〈 2 〉 じゃんぷ 生活介護

- ・安全安心な環境づくりに努めた
- ・利用者の健康維持・管理の徹底と情報共有として各利用者個別の健康状態把握に努めた
- ・リハビリ・機能訓練を実施し、利用者の身体能力の維持・向上に努めた
(リハビリ的動作法、ストレッチ、ヨガ、ウォーキング等)
- ・日常生活上必要な生活能力の維持・向上に努めた
- ・カフェ利用・買い物学習等を通じて、社会性の向上に努めた
- ・利用者個人の能力を最大限発揮できるよう作業・活動を提供し、自主性・自立性を高め、社会参画の場を増やしていくため、作業内容・活動内容の見直し・改善を行った
(アート、音楽、運動、歩行、買い物、紙すき、製菓の外装に関わる作業、クッキーのタグ作り、クッキー配達、チラシ配り 等)
- ・新規利用者を1名受け入れた

2. ほっと 生活介護

- ・安全安心な環境づくりに努め、個別に利用者の障害特性に応じた対応を行った
- ・利用者個別の健康状態把握とスタッフの医療的知識向上を意識し、利用者の健康維持・管理の徹底と情報共有に努めた
また、LAULAU 特殊浴槽を利用した入浴サービス提供を開始し、利用者の健康維持に努めた
- ・自主性や社会性を育み、やりがいと達成感を得るべく、利用者それぞれに合った役割・仕事・活動の提供に努めた
- ・リハビリ・機能訓練を実施し、利用者の身体能力の維持・向上に努めた
(リハビリ的動作法、ストレッチ、ウォーキング等)
- ・協調性や積極性を養うため、ほっと全体行事としての活動の提供に努めた
- ・外部講師による音楽療養は、新型コロナウイルスの影響により未実施
- ・各拠点ごとの会議を強化し、職員間での情報共有・支援力強化に努めた
- ・福祉車両を2台導入し、職員の負担軽減と支援力強化に努めた
- ・新規利用者を1名受け入れた

(1) LAULAU

利用者の自己表現を尊重し、集団での活動を行う中で、自分の役割や居場所を見つけ、やりがいを感じ取っていただくため、活動内容の見直しを行った
また、利用者それぞれの個別の活動・作業への支援見直しを行った

(2) 塩津出張所

利用者それぞれに合った形での自立の方法を探り、利用者個人の能力をより発揮できるように作業や活動を提供した
そのうえで、地域貢献を目指し、より自主的・自立的な社会参画に向け、新たな活動・作業を取り入れ、利用者の活動意欲向上に努めた
新規利用者受け入れに伴う、環境整備と配置職員数など、施設運営整理を行った

3. 共通事項

(1) 施設外活動

- ・太鼓クラブ

週 2 回 (火曜日・木曜日 15:30～ 30 分程度)

月 2 回 外部講師による指導を受ける (1 時間半程度)

- ・研修旅行の実施

主体性を育み、幅広い体験から社会性を高めることを目的とし研修旅行を実施した
また、今回は新型コロナウイルス禍の考慮し、利用者の障害特性・ニーズに応じ各事業・グループごとの研修旅行を実施した

日時 : 9 月 24 日、25 日・9 月 28 日、29 日

10 月 1 日、2 日・10 月 5 日、6 日

場所 : 但馬 (城崎マリンワールド、豊岡市立日本モンゴル博物館、
永澤兄弟製陶所)

- ・お茶会の実施 概ね月 1 回

楽しみながら礼儀作法を身に着けるため、外部講師より指導を受けた

(2) 地域交流

- ・イベント・活動等に積極的にボランティアを受入や販売等を通じ様々な地域イベントに参加が新型コロナウイルスのため中止
- ・トライやるウィーク、中学生受け入れ 新型コロナウイルスのため中止
- ・特別支援学校生、実習受け入れ ほっと 1 名・じゃんぷ 1 名・すいーつ 1 名
- ・フェスタはばたけ 11th に参加し、利用児者とその家族との交流の促進に努めた

(3) 安全衛生・危機管理

- ・感染症 (インフルエンザ・O-157・ノロウイルス) 対策を強化し、衛生管理を徹底した
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策委員会を立ち上げ、感染拡大防止・衛生管理に努めた
- ・防災避難訓練を、2 回実施した

(4) 職員研修

- ・法人内部で職員に対し、基礎研修等の充実を図った
- ・外部講師を招いての研修会を実施し、支援スキルの向上、支援内容の見直しを図った
- ・各種研修への積極的参加を促し、モチベーション、意識の向上を図った
- ・各種専門職の資格取得の奨励を行った



Ⅲ. 障害福祉サービス事業（生活支援）

基本方針

利用者が地域で安心安全に、そしていきいきと暮らしていくために、一人ひとりのニーズを的確に把握し、生活全体の充実を目指す

事業報告

1. ヘルパーステーション はあと

- ・利用者が、地域生活に必要な知識、技術、態度、習慣を身につけるための支援を行った

【身体介護】食事介助・排泄介助・入浴介助・起居介助・服薬介助等日常生活に欠かす事が出来ないサービスを提供した

男性新規利用者1名を受け入れた

【家事援助】食事作りの援助・掃除（衛生面）の援助等自立した生活へむけて必要な援助を提供した

【通院等介助】利用者の安定した健康管理のため、定期的な病院受診への対応を行った
男性新規利用者1名を受け入れた

【行動援護】行動障害に対応できるよう、ヘルパー個々の支援スキルの向上に努め、利用者それぞれに合った形での自立の方法を探り、外出を楽しめる様に取り組んだ

強度行動障害集中支援事業（兵庫県事業）対象利用者の支援に向け、支援方法・支援体制の強化・拡充を図った

【移動支援】商業施設等へ出かけ、利用者が目的を持ち余暇を楽しむ事が出来る様に取り組んだ

男性新規利用者1名を受け入れた

【重度訪問介護】利用者の安全安心な生活に向け、重度の知的障害・行動障害に対応するべく、環境整備・ヘルパーの支援力向上に取り組んだ

男性新規利用者1名を受け入れた

サービス名	登録利用者数	延利用者数	総利用時間
居宅介護	14 名	3,163 人	7,161.0 時間
行動援護	13 名	1,683 人	1,716.0 時間
移動支援	21 名	441 人	738.0 時間
重度訪問介護	2 名	648 人	4,603.0 時間

2. グループホームOHANA 共同生活援助

(1) 共同生活援助

- ・個々のニーズに沿った個別支援計画に基づき、利用者に対する支援の向上に努めた
- ・相談、食事の提供、健康管理、金銭管理の援助、入浴・排泄等の介助、日中活動に関わる他の事業所や関係機関との連絡調整を通じて、日常生活全般の支援を行った
- ・家族との信頼関係の強化や情報の共有を図り、適切な支援サービスの向上に努めた
- ・利用者の自立に向けた支援方法確立に努めた
- ・強度行動障害集中支援事業（兵庫県事業）対象利用者の支援に向け、支援方法・支援体制の強化・拡充を図った

<入居者 22名（あお - 1 5名、あお - 2 6名、にじ - 1 5名、はるぞら 6名）>
(2021年3月31日現在)

<総利用者数と総開所日>

共同生活住居名	総利用者数	総開所日
あお - 1	1,717 人 (1,862 人)	365 日 (366 日)
あお - 2	2,037 人 (2,155 人)	365 日 (366 日)
にじ - 1	1,559 人 (1,625 人)	365 日 (366 日)
はるぞら	2,071 人 (594 人)	365 日 (122 日)

※（ ）内は 前年度

(2) 短期入所

- ・短期的な入所を必要とする障害者児に対し、適切なサービスの提供に努め、緊急時にサービスを提供できる体制作りに努めた

<利用者数と利用延べ日数>

共同生活住居名	利用者数	利用延べ日数
あお - 2	1 人 (1 人)	35 日 (6 日)
にじ - 1	2 人 (2 人)	82 日 (93 日)

※（ ）内は 前年度



3. つくし 障害児通所支援

- ・安全安心な環境づくりに努めた

- ・利用児の健康維持・管理の徹底に努めた

- ・個々のニーズに合わせた療育的内容・リハビリ的運動・機能訓練を実施し、利用児の自発的な力を引き出した

- ・利用児が理解しやすく、活動しやすい環境配慮に努めた

(1) 放課後等デイサービス

- ・利用児の状況に応じて、適切な技術をもって支援を行った

- ・利用児及びその家族が希望する生活や、利用児の心身の状況を把握し、適切な相談・援助を行った

内容：学校・家庭訪問、保護者の会、職員ミーティング 等

- ・日常生活能力の維持・向上を図った

- ・計画に沿って個別活動、集団活動、社会参加の充実を図り、利用児の活動の幅を広げることに努めた

(絵画、公共施設の利用、自立するための集団活動、ワーク、カード支援、ソーシャルスキルトレーニング、音楽療法、機能訓練、TEACCHプログラム等)

- ・新型コロナウイルスの影響を考慮し、利用時間等の調整を行い、障害児とその家族の生活環境変化への負担軽減に努めた

(2) 児童発達支援

- ・見学・受け入れ準備にとどまり、利用には至らなかった

<登録利用者数 放課後等デイサービス 30名 児童発達支援 0名>

	総利用者数	総開所日
放課後等デイサービス (平日)	886 人	127 日
放課後等デイサービス (休日等)	1,000 人	131 日
児童発達支援	0 人	0 日

※ (休日等) は、土曜日・祝祭日・学校教育法施行規則に規定する休日

※ 今回は新型コロナウイルスの影響のため、休日扱い日が多い



4. 共通事項

(1) 安全管理・危機管理

- ・感染症（インフルエンザ・O-157・ノロウイルス）対策を強化し、衛生管理の徹底については、個々の事業所で実施した
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策委員会を立ち上げ、感染拡大防止・衛生管理に努めた
- ・防災・避難訓練を年に2回実施した

(2) 地域交流

- ・フェスタはばたけ 11 t hへ参加し、利用児者とその家族との交流を図った
- ・その他の地域交流は、新型コロナウイルスの影響のため、自粛

(3) 職員研修

- ・法人内部で職員に対し、基礎研修等の充実を図った。
- ・外部講師を招いての研修会を実施し、支援スキルの向上、支援内容の見直しを図った
自閉症スペクトラム支援研修 月1回
- ・各種研修への積極的参加を促し、モチベーション、意識の向上を図った
- ・各種専門職の資格取得の奨励を行った



IV. 法人運営

1. 理事会、役員会

令和2年 5月26日

第61回理事会

9月 3日

第1号議案 令和2年度事業計画及び活動予算に関する事項
認定NPO 法人はばたけ手をつなぐ育成会認証について
他協議事項4件

12月 3日

フェスタはばたけ 11th について
他協議報告事項5件

令和3年 3月11日

OHANA 支援状況報告について

3月23日

但馬ブロック会議報告について
他報告事項4件

2. 総会

令和2年 6月11日

第16回通常総会

第1号議案 令和元年度事業報告に関する事項

第2号議案 令和元年度活動計算書に関する事項
監査報告

第3号議案 定款変更（法人名称）に関する事項
報告事項 令和2年度事業計画について
令和2年度活動予算書について

3. 会員（令和3年3月31日現在）

正会員 57名

賛助会員 35名

寄附者 104件



4. その他

令和2年9月4日 法人名称「認定NPO 法人はばたけ手をつなぐ育成会」 認証

